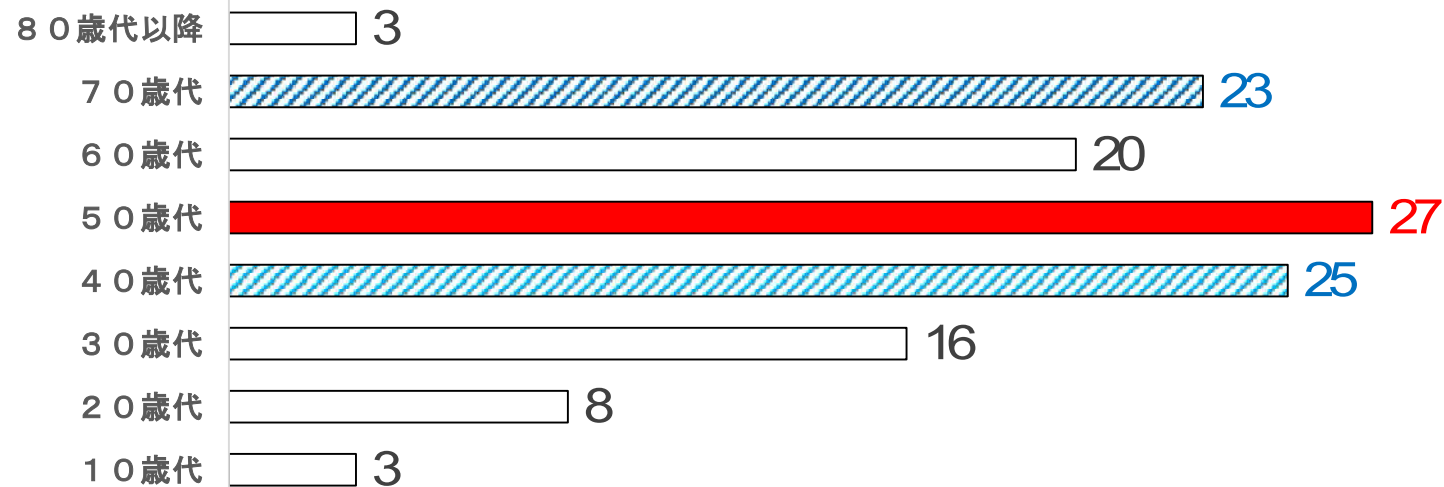


令和8年度第2回県政モニター調査結果

子ども福祉課 子ども支援係
(TEL : 099 - 286 - 2809)

○テーマ	かごしま子ども・若者総合相談センターについて
○調査目的	みなさまから率直なご意見をいただくことで、子ども・若者にとって「あったら助かる支援」の実現、加えて、「かごしま子ども・若者総合相談センター」がより身近に感じることができる場所になることを目指して調査するものです。
○実施月	令和8年5月
○調査対象者	200人
○回答者数	125人（62.5%）

問1 あなたの年齢を教えてください。



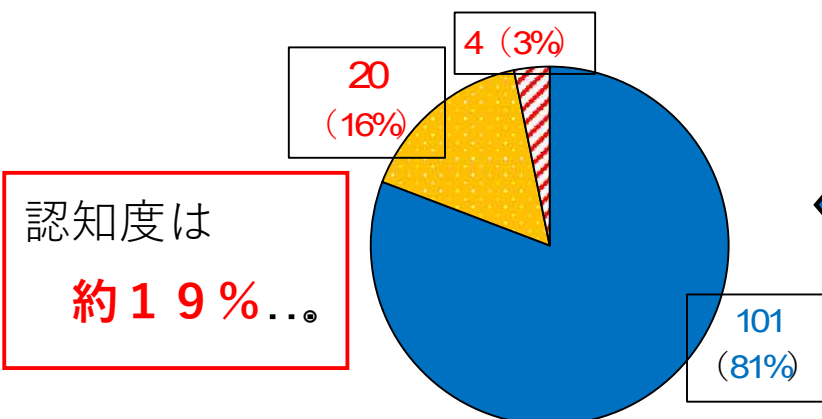
問2 あなたは、「かごしま子ども・若者総合相談センター（鹿児島市鴨池新町1番8号鹿児島県青少年会館）」や同センターに併設されている「子ども・若者ホッとスペース」を知っていますか？（1つ選択）

- ①名前だけではなく、利用方法（内容）も知っている
（または利用したことがある）
②名前だけ知っているが、利用方法（内容）はわからない
③知らない（今回の調査で初めて知った）

☐ 4

20

101



知らない
（今回の調査で
初めて知った）
約81%

問3 「知っている（問2で①、②を回答した）」方は、どこで知りましたか？（1つ選択）
※問2で③を回答した方は、問4からご回答ください。

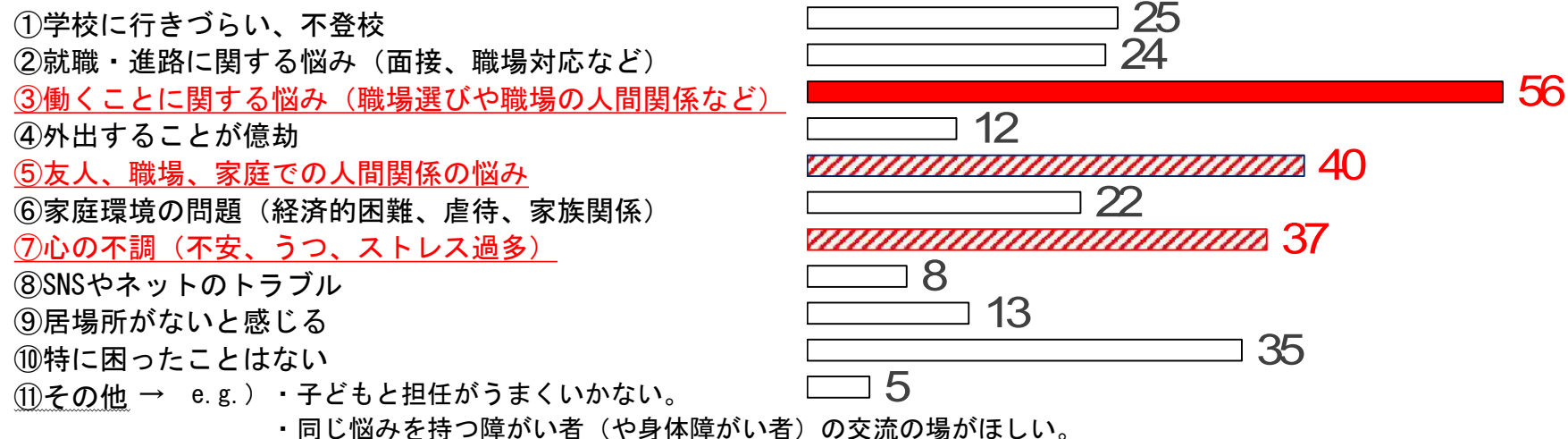
- ①学校（先生やスクールカウンセラー、保健室など）
②行政の広報（県・市町村のホームページ、広報誌）
③SNS（X（旧Twitter）、Instagram、TikTokなど）
④家族、友人、知人から聞いた
⑤インターネット検索
⑥医療機関や相談支援機関からの紹介
⑦その他

3

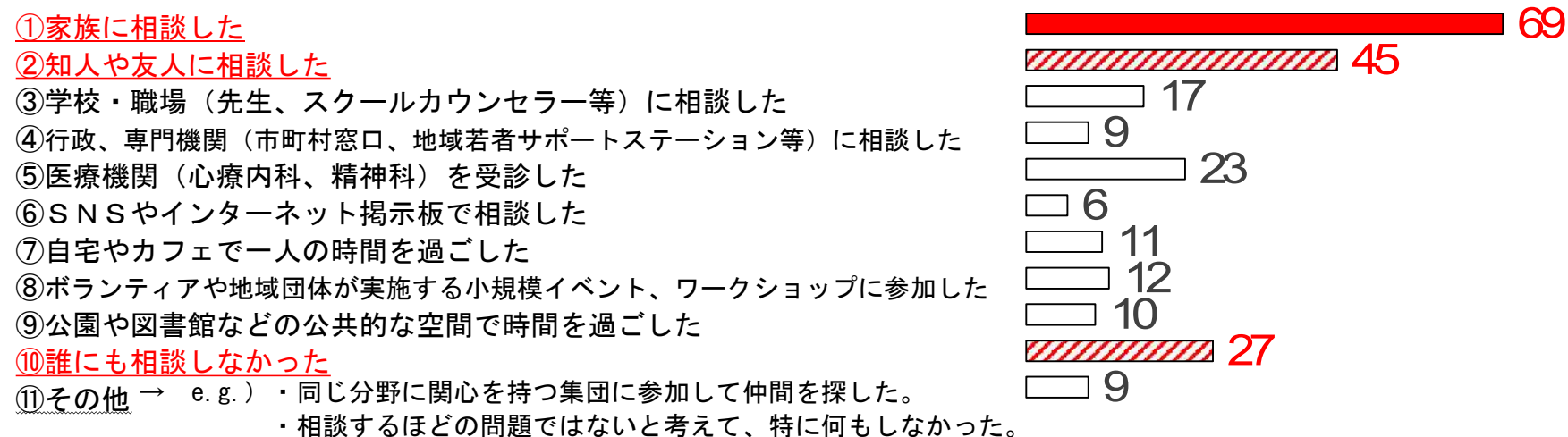
17

☐ 1
☐ 1
☐ 1
☐ 1
0

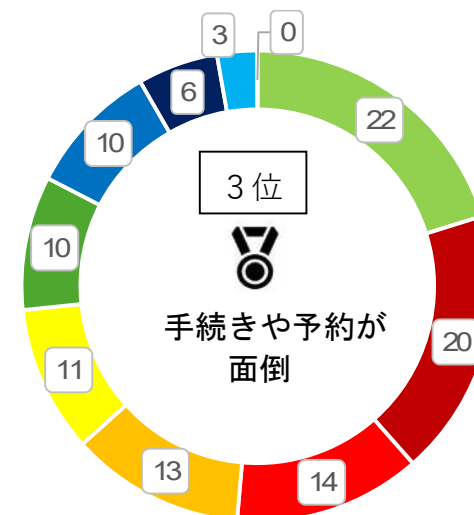
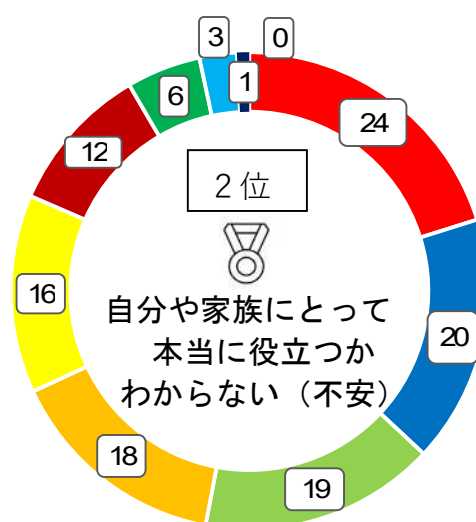
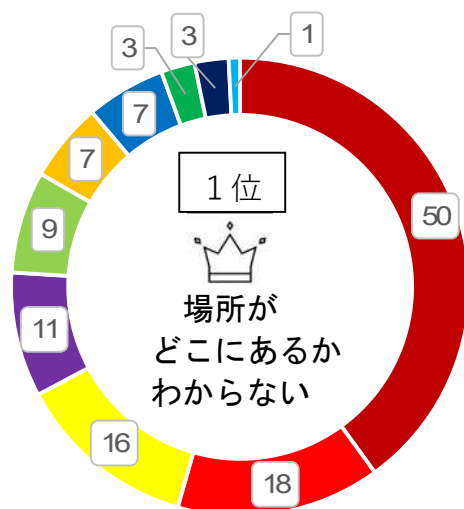
問4 ご自身やご家族において、これまでに感じたことのある悩み・困りごとがありましたら教えてください。（複数選択可）



問5 問4のような悩み・困りごとがあったとき、どのような行動をとりましたか？（複数選択可）



問6 「かごしま子ども・若者総合相談センター」や「子ども・若者ホッとスペース」を知る方が利用しやすくするための課題は何だと思いますか？現状、優先的に解消すべき課題を1から3位まで順番をつけて教えてください。

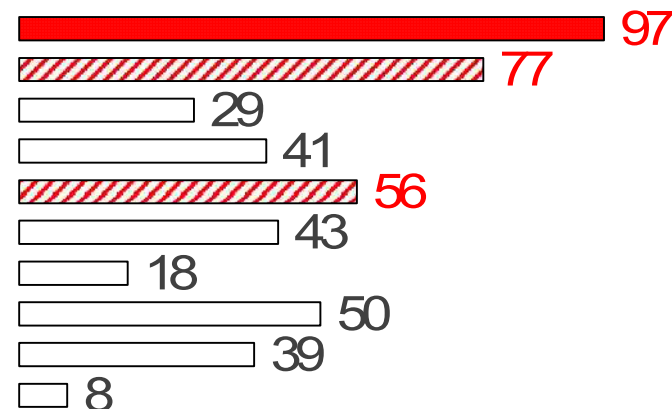


	1位	2位	3位	計
①場所がどこにあるかわからない	50	12	20	82
②自分や家族にとって本当に役立つかわからない(不安)	18	24	14	56
③初対面の相談員と話すことが苦手	7	18	13	38
④周囲に知られるのが不安(学校、友人、家族、職場など)	16	16	11	43
⑤手続きや予約が面倒	9	19	22	50
⑥時間が合わない	3	6	10	19
⑦現状の空間として居心地が悪そう	1	3	3	7
⑧自分の悩みがどれほどの悩みか掴みづらい	7	20	10	37
⑨特に感じない	3	1	6	10
⑩その他	11	0	0	11
計	125	119	109	353

e. g.) ・もっと同じような場所を増やすべき。
・子ども・若者にとって、行きにくい場所にある(駅、バス停からの距離や公共交通機関の頻度など)。

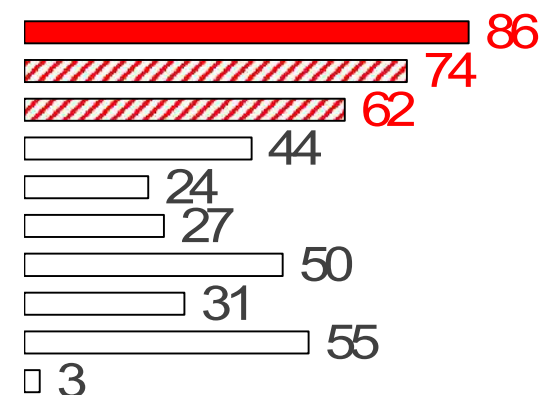
問7 どのような環境・場であれば、利用したい（あるいは利用しやすい）と思いますか？（複数選択可）

- ①予約不要で気楽に立ち寄れる
- ②匿名で相談できる
- ③同世代の人と交流できる
- ④同じ悩みを持つ人との交流（ピアサポート）
- ⑤相談員やスタッフが話しやすく、フレンドリー
- ⑥落ち着いて勉強や作業、会話ができる空間
- ⑦ボランティア、学生協力によるワークショップや体験型プログラムがある
- ⑧オンラインでも利用できる（チャットや面談）
- ⑨一人でも長時間過ごすことができる空間
- ⑩その他 → e. g.）・悩みの解決が保証される
 ・身体に悩みや障がいを持っている人が利用できる場所。
 ・子ども・若者が行きやすい場所、干渉されない空間

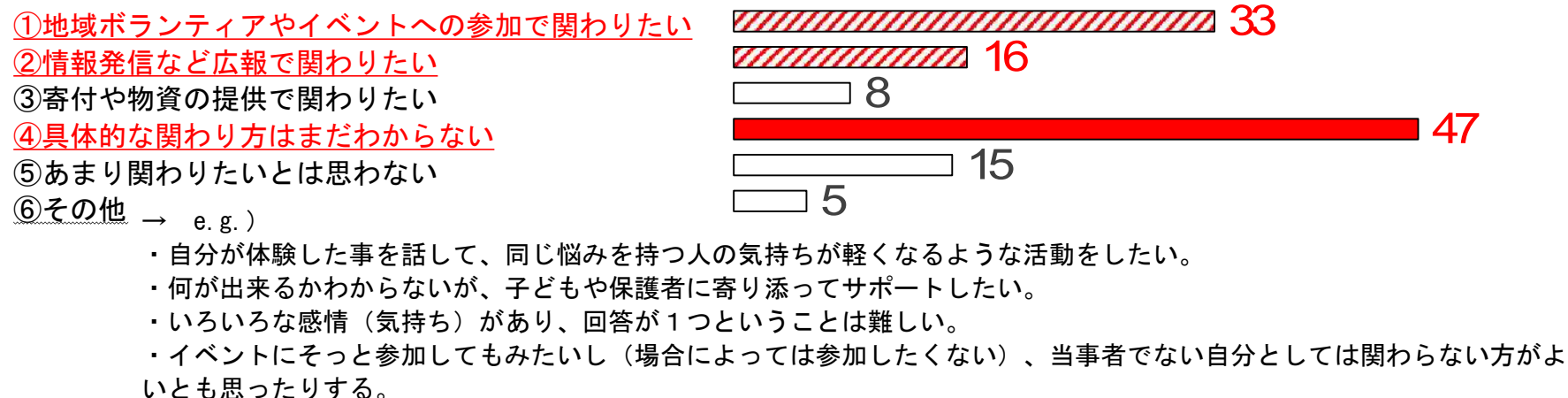


問8 「子ども・若者ホッとスペース」にあると便利・必要だと思う機能を教えてください。（複数選択可）

- ①安心して過ごすことができる居場所
- ②悩みを相談できる機能
- ③学習支援（勉強、資格、PCサポート）
- ④同じ悩みを持つ人との交流（ピアサポート）
- ⑤ボードゲームやカードゲームなど、少人数で自然に交流できる企画
- ⑥ワークショップ、手作り体験（創作活動）など小規模イベント
- ⑦軽食、休憩ができるカフェ風フリースペース
- ⑧期間限定でテーマを変えたイベント（ポップアップイベントや音楽・映画鑑賞、写真展示など）
- ⑨専門機関（医療、福祉、相談支援機関など）とのつながり（同行支援を含む）
- ⑩その他 → e. g.）・働けて、給料がもらえる仕組み
 ・スペースに通うことができる手段の確保



問9 家庭や学校に居場所がない子ども・若者が安心して過ごすことができる一時的な居場所に対して、あなたはどのように関わりたいと思いますか？（1つ選択）



問10 かごしま子ども・若者相談センターが子ども・若者にとって「また行きたい」「誰かにすすめたい」場所（居場所や相談先でも構いません）になるために必要だと思うことを自由に御記入ください。

- ・親でも先生でもない「斜めの関係」の大人として日常的な会話を大切にし、同じ目線で語り合える場を設けるべき。
- ・若者自身が運営のアイデアを出したり企画に関わったりできる「主体的な参画」の機会をすることで、支援を受ける側という立場を超えた当事者意識（オーナーシップ）と場所への愛着を育むことが重要。
- ・問題解決に向けて、各学校や担任等とこまめに連携をとって欲しい。教員が、初期段階からしっかりした対応が出来る研修や、サポート体制が必要。
- ・親世代への情報提供、周知がまず必要。各地域の民生委員、児童委員などのボランティア団体からの情報提供はどうか。
- ・相談機関も鹿児島市に集中していることから圏域ごとに相談機関を設置した方がいい。
- ・子どもが自分の足あるいは公共交通機関で通うことが可能であることが必須。
- ・相談できる環境も大切であるが、まずは自分で考え、悩み、解決しようとする態度の育成が大切。

※皆様からたくさんの貴重なご意見、ご要望をいただきました
その一部を記載させていただいております。